



代表取締役

荒井 裕一郎

(あらい ゆういちろう)

1960年1月生まれ。62歳。立教大学経済学部卒業後、日立精機に入社。83年に弊社に入社。取締役専務を経て、2012年7月に代表取締役に就任。3代目社長として、裁断機の製造・販売にシフトし、事業を拡大し続けている。

お困りごとを形にする 100年続くものづくり

お客様に合わせた 裁断機の総合メーカー

弊社は抜型裁断機の総合メーカーです。お客様の工場で製造する製品をそれぞれの型に打ち抜くための機械を製造・販売しています。食品トレー、ネクタイ、液晶パネル、自動車、湿布など型で打ち抜く製品は様々です。そのため、取引先の業界も食品、自動車、家電、衣

料、医療と多岐にわたっています。主力商品は油圧式裁断機とサーボクランク式裁断機であり、製品を幅広く取り扱っているのが弊社の強みです。またバリアブルカットや二次元コード刃型管理システムなど独自の特許技術を多数保有しています。

時代は変わっても、ものづくりの本質は変わりません。創業以来、100年間培ってきた技術力で、お客様の「お困り

ごと」に主体的に取り組み、解決のために裁断機を製造・改良してお届けしています。お客様それぞれに扱う製品も違えば、工場の事情も違うため、弊社がお困りごとを聞いて、カスタマイズをします。創業者である祖父から受け継がれた精神で、アフターケアにも力を入れています。現代の裁断機は多機能になり、構造も入り組んでいるため、技術スタッフもひとつだけではなく、複数の

専門をもつように多能化教育をして対応をしています。

専用サイトを開設し 中古裁断機市場に参入

弊社はより良いものづくりのために、次の100年も果敢に挑戦を続けていきます。現在、若手社員を中心としたチームが取り組んでいるのは、中古の裁断機を取り扱う専用サイトです。製品の型抜きができる裁断機は必要な事態に備えて、多くの工場に置いてあります。裁断機をメインのラインでは動かさず、サブ的に使用したいお客様にとっては、新品では購入コストが見合わないで中古製品を求めます。しかし、裁断機の中古市場の現状は玉石混交の商品があふれているため、購入したお客様がメンテナンスや修理のケアができず、トラブルも発生しています。そこで、弊社が中古の裁断機を売り手と買い手で取引するマッチングサイトを用意しようと思いました。弊社の専門スタッフが状態を確認し、必要ならばオーバーホールもした中古の裁断機を安心して売買できるプラットフォームを考えています。

所属部署にとらわれず 自由なアイデアを歓迎

弊社ではものづくりの次の100年に向けて、自分から発想できる人を求めています。そのため入社してくる社員に先入観を抱かないし、垣根をつくりません。本人がやりたいという気持ちを尊重するため、新入社員全員にすべての部署でひと通り研修を受けてもらいます。技術部の設計、製造部の資材課、組立課、営業部、経理部などの仕事を短期間ずつ経験してもらうのです。弊社にある

すべての仕事を実地を経験してもらったうえで、どの部署に配属されたいのか希望を述べてもらいます。どこの部署に配属されたとしても、弊社では常にスムーズな協力体制が取れるように部門を越えたコミュニケーションを推進しています。

より良いものづくりのために所属部署を問わず、アイデアや提案を活発に発信しあっています。以前、ある工作機械がひとつの製品を製作するのに25秒間かかっていたのを、半分以下の12秒に短縮する画期的なアイデアが社内から生まれました。発案者は営業部の人間で、そのアイデアで改良された工作機械は世界中で売れたのです。多様性を尊重し、想像力と技術力で新たな解決策を見つけ出す姿勢は次の100年も買っていきます。



▲ 1984年に2代目社長が新設した本庄工場。



▲ リモートも駆使して部門を超えたコミュニケーションを推進。

- ▶ 所在地
〒369-0112
埼玉県鴻巣市鎌塚1-1-3
- ▶ TEL
048-548-0631
- ▶ 設立
1943(昭和18)年6月
- ▶ 従業員数
75名
- ▶ 売上高
21億1,187万円
[2021(令和3)年7月期]
- ▶ 事業内容
精密裁断機の設計開発・製造・販売
- ▶ URL
<https://akebonomc.co.jp>

▼ 企業公式サイト

